

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第3部門第3区分  
 【発行日】平成22年6月17日(2010.6.17)

【公開番号】特開2009-19075(P2009-19075A)  
 【公開日】平成21年1月29日(2009.1.29)  
 【年通号数】公開・登録公報2009-004  
 【出願番号】特願2007-181006(P2007-181006)  
 【国際特許分類】

C 0 9 D 183/06 (2006.01)  
 C 0 9 D 201/00 (2006.01)  
 C 0 9 D 5/02 (2006.01)  
 C 0 9 D 7/12 (2006.01)  
 C 0 9 D 133/00 (2006.01)  
 B 0 5 D 3/04 (2006.01)  
 B 0 5 D 7/24 (2006.01)

【F I】

C 0 9 D 183/06  
 C 0 9 D 201/00  
 C 0 9 D 5/02  
 C 0 9 D 7/12  
 C 0 9 D 133/00  
 B 0 5 D 3/04 C  
 B 0 5 D 7/24 3 0 2 Y

【手続補正書】  
 【提出日】平成22年4月28日(2010.4.28)

【手続補正1】  
 【補正対象書類名】特許請求の範囲  
 【補正対象項目名】全文  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】  
 【特許請求の範囲】  
 【請求項1】

(A) テトラアルコキシシランの縮合物(a-1)、親水性有機溶媒(a-2)、該テトラアルコキシシランの縮合物が有するアルコキシ基の当量(モル)以上の水(a-3)、および、触媒(a-4)を混合することにより得られるアルコキシ基を実質的に有さないポリヒドロキシシロキサンと、水性エマルジョン樹脂とを含む、無機有機複合コーティング組成物。

【請求項2】

前記水性エマルジョン樹脂が、アクリル系樹脂を含む、請求項1記載の無機有機複合コーティング組成物。

【請求項3】

請求項1または2記載の無機有機複合コーティング組成物から形成されるコーティング膜であって、前記水性エマルジョン樹脂から形成された部分がコーティング膜中に分散している、コーティング膜。

【請求項4】

前記水性エマルジョン樹脂から形成された部分に由来する空孔を有する、請求項3記載のコーティング膜。

【請求項5】

請求項 1 または 2 記載の無機有機複合コーティング組成物を塗布する工程 ( 1 ) を含む、コーティング膜の製造方法。

【請求項 6】

工程 ( 1 ) で得られたコーティング膜から、水性エマルション樹脂から形成された部分を除去する工程 ( 2 ) をさらに含む、請求項 5 記載のコーティング膜の製造方法。

【請求項 7】

前記除去がプラズマ照射により行われる、請求項 6 記載のコーティング膜の製造方法。